

U I ターンの受け皿となる、 古民家再生プロジェクトが 福津市津屋崎にて、始まりました。

NPO法人地域交流センターでは、2009年8月にふるさと雇用再生特別基金による福津市からの委託を受け、4人のスタッフが全国から移住し、地域の内側から地域活性化を進める取り組みを行っています。

活性化の中心は、かつて製塩と交易で栄え、明治時代からの商家などが昔懐かしい町並みを形づくっている、福津市の「津屋崎千軒」一帯です。この一帯は、2007年3月末の西鉄宮地岳線廃止なども影響し、空家・空地が増えているのが現状です。このままでは、美しい町並みが姿を消し、地域コミュニティの存続も危ぶまれます。

しかし、私たち移住者から見れば、夕陽や海的美しさ、美しい町並みや人情、歴史的なお祭り、ウミガメがやってくるほどの自然などが豊富です。さらに、博多や天神まで車で僅か45分（距離は約25km）という立地は、「都会の刺激を享受しつつ、田舎に暮らしたい。」という現代人のニーズを捉える、魅力的な場所です。

そこで私たちNPOは、ホームページなどを活用し暮らしの情報発信を行ったり、交流イベントなどを通じたりして、津屋崎千軒の魅力を発信し続けています。それにより移住に関心のある方々が増えてきました。

そこでいよいよ、市外からの移住希望ニーズに応えると同時に、町並みと地域コミュニティを存続させるために、空家になっている古民家を再生し、移住者を受け入れるプロジェクトを開始しました。

調査の結果、古民家が空家のまま放置されるのには幾つかの理由があることが分かりました。「雨漏りして改修費用に大きな費用が掛かる」、「家財道具があり、搬出が難しい。」「持主が別の県に住んでいて特定が難しい」「相続により兄弟間で意思統一が図れない。」などの理由によるものです。

そこで、家主に一切の金銭的負担、及び労働力の負担を掛けずに、改築して移住希望者に貸し出す方法を考え出しました。趣旨に賛同して下さった物件について、移住希望者を募集します。

第1号の物件K邸プロジェクトは、築55年の木造2階建て、約120平米の家。津屋崎千軒の中でも特に古い家々が残る一画に建っています。この家は約30年間空き家で、調査の結果、雨漏りが発生していましたが、基礎がしっかりして歪みもなく、小規模な改築で住めることが分かりました。そこで8月に、お掃除隊ボランティアを募集し、荷物の搬出を行いました。

今後、K邸プロジェクトは以下のように進められます。

まず借主が見つかり次第、改築費に相当する額（月家賃7万円×6年分）を前払いして頂き、それを原資に改修を行います。改修後、借主は6年間住む権利を手にします（定期借家権）。6年後に一旦、家主に改修された家に戻ります。家主は自らがそこに住むか、継続して貸すなどの選択権を持つことが出来ます。募集期間は10月30日までです。

地域交流センターにはこれまでに10件以上の移住相談が寄せられており、さらに第2、第3の古民家再生プロジェクトを進める予定です。



○お問い合わせ
NPO法人地域交流センター
津屋崎ランチ

担当：山口 覚（理事）
住所：福岡県福津市津屋崎 4-15-17
電話：0940-52-5760
携帯：090-4453-0539
メール：yamaguchi@1000gen.com

<http://1000gen.com>